

令和 6 年度 大阪府立吹田高等学校 学校教育自己診断 (生徒・保護者)

集計結果の分析と
今後の取り組み



【はじめに】

今年度も、生徒並びに保護者の皆様のご意見を反映し、より良い学校運営に資するため、「学校教育自己診断」を実施いたしました。お忙しい中にも関わりませず、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。

その集計結果と今後の取り組みについてまとめましたので、お届けいたします。

【資料の見方】

吹田高校では、他の大阪府立の高等学校と同じく年度当初に「学校経営計画」を策定し、その実現に向けて、教職員が力を合わせ、学校教育に取り組んでいます。

そこで、今年度の学校教育自己診断の結果等につきましても、質問毎に「学校経営計画」との対応がわかるように整理しました。

*「学校経営計画」は本校のホームページ（以降、HPと記します）に掲載しておりますので、あわせてご覧ください

本資料の見方は、以下の通りです。

「学校経営計画」の今年度の重点目標に含まれるかまたは近いテーマ

- その項目に関わる質問 と アンケート集計結果 及び
対応する「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所
- アンケート結果に対する学校の受け止め方（分析）
- 来年度以降の指導の方向性（対応）

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率	
1	あなたは学校に行くことが楽しいです か。	1 年	42.59%	39.81%	10.19%	7.41%	82.4%	81.1%
		2 年	38.12%	42.54%	14.36%	4.97%	80.7%	
		3 年	37.58%	42.68%	11.46%	8.28%	80.3%	

R6 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
1	子どもは、学校が楽しいと言っている。	36.0%	41.9%	16.5%	5.6%	77.9%

■【学校の受け止め方（分析）】

学校に行くことが楽しいということは、学校が居心地のいい場所、自身の居場所として感じてもらえていることととらえています。昨年度から引き続き、今年度も肯定的な回答が増えていますが、100%を目標に教育活動を進めていきます。

全生徒、全保護者の方の思いを取り入れた学校運営ということはなかなか難しいのが実際ではありますが、こういった機会に学校へいただいたご意見を参考にしながら、改善をしていきます。また、学校には相談室（みかんルーム）を設置しておりますので、友達には話せないこと、悩みごとがあれば遠慮なく利用していただきたいです。学習、人間関係、日常生活など、さまざまなことについて思い悩むことがあろうかと思いますが、学校が生徒にとっての大切な居場所となるように、楽しいと思える場面を作っていけるように、全教職員で安心できる学校づくりをしていきます。

Ⅰ 遅刻・頭髪・登下校時のマナー指導

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかとい ええばそう 思う	どちらかとい ええばそう 思わない	そう思わな い	R06肯定的 回答率	
2	あなたは毎朝遅刻をしないように意識を していますか。	1 年	68.69%	25.70%	4.67%	0.93%	94.4%	92.9%
		2 年	68.51%	25.97%	3.87%	1.66%	94.5%	
		3 年	60.51%	29.30%	7.64%	2.55%	89.8%	
3	あなたは登下校時に、交通ルール・マ ナーを守るように努めていますか。	1 年	68.06%	29.17%	2.31%	0.46%	97.2%	97.7%
		2 年	71.67%	26.67%	1.67%	0.00%	98.3%	
		3 年	67.09%	30.38%	2.53%	0.00%	97.5%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
2	学校の遅刻指導（早朝登校と入室許可書）について理解できる。（通院などの特別な場合を除く）	62.6%	31.2%	5.3%	0.9%	93.8%
3	学校の頭髪指導について理解できる。	50.6%	35.5%	11.5%	2.4%	86.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → Ⅰ（Ⅰ）ア

■【学校の受け止め方（分析）】

生徒アンケート質問2、3および、保護者アンケート質問2は、肯定的意見が90%を上回っています。生徒一人ひとりが遅刻をしないように、また交通ルールを守り安全に登下校できるように意識しながら日々学校生活を送っていることが伺えます。しかし、遅刻数は年々増加傾向であり、登下校中の事故の連絡も少なからずあるのが現状です。

時間を守ることは、授業を大切にすることにつながり、自分の未来（進路）に影響します。また、交通ルールを遵守することで、自分と他者の命の両方を守ることができ、思いやりや譲り合いの気持ちも生まれます。引き続き、学校の指導を通して、基本的な生活習慣を確立していきましょう。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

遅刻や違反行為については、規範意識がしっかりと定着するまで、現在の指導を継続すること、より良い指導法を考えていくことが必要だと思っています。また、指導に際しては、「ペナルティを科す」ことを目的とせず、「なぜ指導を受けているのか」を該当生徒にしっかりと納得させること、安易な指導にならないことが不可欠だと認識しています。

生徒自らが自分を律し、また、自分の成長を考えて、時間を守りルールを守るという当たり前のことができるように、今後も丁寧な指導を続けていきたいと考えています。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 学校行事・部活動のさらなる充実・活性化

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
4	あなたは遠足、体育祭、文化祭などの学校行事に自主的・積極的に参加していますか。	1年	66.20%	26.39%	5.56%	1.85%	92.6%
		2年	63.89%	26.11%	7.78%	2.22%	90.0%
		3年	64.56%	23.42%	9.49%	2.53%	88.0%

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
9	学校の体育祭、文化祭に子どもは自らすすんで取り組んでいる。	49.3%	38.0%	9.8%	3.0%	87.2%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → Ⅰ（２）ア

■【学校の受け止め方（分析）】

行事への積極的参加について、今年度の肯定的回答率は、昨年度と比べ生徒・保護者ともに約3%低下しました。まだ約90%と高い水準ではありますが、保護者回答においては90%を下回ってしまった点について、重く受け止めたいと考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今年度の行事について、いただいたご意見や反省点を迅速に検討し、来年度の行事がよりよいものになるよう改善してまいります。また、生徒会部だけでなく、担任や文化祭出場クラブの顧問とも綿密にコミュニケーションをとり、全ての関係者にとって行事の満足度を上げることができるよう努めてまいります。

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率	
5	学校の部活動は活発だと思いますか。	1 年	40.28%	34.12%	16.59%	9.00%	74.4%	74.7%
		2 年	37.22%	35.56%	15.56%	11.67%	72.8%	
		3 年	38.06%	38.71%	16.13%	7.10%	76.8%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
10	学校の部活動は活発である。	25.8%	44.8%	23.9%	5.5%	70.6%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → Ⅰ（２）イ

■【学校の受け止め方（分析）】

部活動について、昨年度と比べ生徒の肯定的回答率は2.5%上昇したものの、保護者の肯定的回答率は1.9%下落したという結果になりました。この結果を踏まえ、生徒会部では、部活動自体は活発になっているものの、それが保護者をはじめとする外部に実感してもらえていないと考えております。この点について、部活動の広報活動をさらに強化していく必要があると考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校外に部活動についてより知ってもらうためには、部活動ブログの活用が必要であると考えております。来年度は、生徒会部から部活動ブログの更新を今まで以上に呼び掛け、本校の部活動の活動内容を外部の方々により知ってもらう体制を整えていきたいと考えております。

3 教育相談・支援教育の充実

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率	
6	学校に悩みを相談できる場があると感じ ていますか。（先生や部屋）	1 年	41.59%	36.92%	17.76%	3.74%	78.5%	79.8%
		2 年	35.56%	45.00%	12.22%	7.22%	80.6%	
		3 年	35.44%	44.94%	13.29%	6.33%	80.4%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
5	生徒が保健室や生徒相談室などで気軽に教員に悩みを相談できる。	29.4%	40.3%	24.2%	6.1%	69.7%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 3ア

■【学校の受け止め方（分析）】

「教育相談・支援教育の充実」について、79.8%の生徒、69.7%の保護者が肯定的に回答しています。

教育相談・支援教育のために、担任や保健室を中心として、生徒が気軽に相談できる体制を築いてきました。「みかんルーム（教育相談室）」では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に来校し、個別相談やケース会議を継続して実施しています。各担任や教科担当の先生方も、授業だけでなく様々な場面で日頃から生徒とコミュニケーションを取っています。日頃の関係づくりがこのような結果につながっていると考えられます。また、薬物乱用防止教室、デートDV予防啓発出前授業、思春期講座、他者理解のための講演会、健康教育セミナーなど、心身の健康の充実について意識を高める教育活動も行い、講師の先生にも個別相談の時間を持っていただくこともあります。生徒が心身の健康に関心を持ち、また解決の手段を持つことにつなげていけるようより一層努めてまいります。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

これまで同様、生徒たち一人ひとりの悩みや想いを真摯に受け止め、それぞれのケースに応じたきめ細かな対応を心がけるとともに、様々な課題を持つ生徒の早期発見に努め、生徒自らが自己実現に向けて行動していけるよう支援していきたいと考えています。本校の支援体制、支援に対する教職員の意識は高く、安心して相談してもらえる状況です。多様な課題のある生徒にしっかりと寄り添えるよう職員研修や個別相談等の機会を持ち、関係機関並びに保護者の皆様との連携を深めながら、教育相談、支援教育の充実に努めます。今後も引き続き、お子様に関わっての悩み、お気づきのことなどがあれば、お気軽に学校にご相談いただきますようお願いいたします。

4 互いを認め合える集団づくり

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率	
7	学校では人権に関して学ぶ機会があると思いますか。（在日外国人、障がい者理解、同和問題、ジェンダー等）	1年	48.36%	38.97%	9.39%	3.29%	87.3%	83.1%
		2年	30.94%	41.99%	20.44%	6.63%	72.9%	
		3年	42.68%	46.50%	10.19%	0.64%	89.2%	
8	学校は「いじめ」や「暴力」などいろいろな問題を見逃さず対応していると思いますか。	1年	37.91%	44.08%	15.17%	2.84%	82.0%	79.9%
		2年	28.18%	51.38%	17.68%	2.76%	79.6%	
		3年	34.62%	43.59%	16.67%	5.13%	78.2%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
8	学校では、すべての生徒の尊厳が守られ、基本的人権が尊重されるように、人権学習、いじめの実態把握を行っている。	21.3%	53.5%	19.5%	5.8%	74.8%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 1 (2) イ

■【学校の受け止め方（分析）】

項目7に対する肯定的な回答は、1年生 87.3%、2年生 72.9%、3年生 89.2%、全体平均 83.1%と昨年度の 87.1%から4%減となりました。しかし、大多数の生徒は人権 HR の重要性を理解してくれていることを推察できる高い数値を維持しています。

項目8に対する肯定的な回答は、1年生 82.0%、2年生 79.6%、3年生 78.2%、全体平均 79.9%となり、昨年度の 82.9%から3%下回りました。いじめアンケートを3回実施し、事後の聞き取りを丁寧に行っていることが8割程度の生徒から信頼を得られている1つの要因と考えられます。一方で各学年の2割程度の生徒は否定的な回答をしており、重く受け止めております。生徒一人ひとりが安心して生活できる学校づくりが急務であり、今後の大きな課題です。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今年度は人権 HR で福祉体験を実施しました。生徒の満足度も高く、今後も継続して実施していきたいと考えています。一言で人権問題と言ってもさまざまなあります。人権 HR を通して、多様な問題を理解する機会の拡充が必要だと痛感しています。生徒が社会の一員として自信をもって生きていくための素地を育てる高校生活となるよう、多様性を尊重する人権教育を推進します。

今年度のアンケート結果の否定的な回答にも焦点を当て、来年度の生徒間のトラブル回避に役立てたいと考えています。今年度と変わらず、安心安全な学校づくりに努めます。

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率	
10	あなたは授業やLHR、講演会などの機会を通して、情報モラル等を身につけることができますか。	1年	52.34%	42.06%	5.14%	0.47%	94.4%	92.0%
		2年	43.02%	46.37%	8.94%	1.68%	89.4%	
		3年	43.31%	49.04%	5.73%	1.91%	92.4%	

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な意見が多いととらえています。1年では入学してすぐにスマホ講習会を実施し、また情報の授業だけではなく、様々な機会の情報モラルについての指導を行っていますので、生徒がしっかりと理解してくれていると感じています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

来年度も今年度の形をとり、引き続き情報モラルの育成に取り組んでいきます。また、情報化社会の課題は新たなものが常に生起していますので、指導の内容もアップデートしていきます。

5 安全管理の徹底、校内美化の推進と外部機関との連携

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率	
9	あなたは日頃、学校で清掃するなど、校内美化に努めていますか。	1年	30.23%	49.77%	17.21%	2.79%	80.0%	73.3%
		2年	33.70%	40.33%	22.10%	3.87%	74.0%	
		3年	27.74%	38.06%	26.45%	7.74%	65.8%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
7	校内は、清掃が行き届いている。	14.3%	50.1%	26.3%	9.3%	64.5%

■【学校の受け止め方（分析）】

「校内美化の推進」について、生徒の 73.3%、保護者の 64.5%が肯定的に回答しています。歴史ある学校であるため、校舎設備の老朽化や水道設備の不備により、清掃活動が思うようにできないという側面が影響していそうだと考えます。通常清掃、清掃徹底週間、施設設備の安全点検、生徒保健委員による学校環境美化啓発活動（清掃点検、ポスター掲示など）は引き続き行っています。安全点検で所見があった箇所については、速やかに対応しています。

【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校舎設備老朽化の改善については、府教育庁に引き続き計画的な整備を要望していきます。生徒・教

職員の一人ひとりが「自分の学校・母校」という気持ちで清掃に取り組むことで、「古いけれど、手入れの行き届いた清潔な学校」につながると考えています。自らの学習環境を清潔に保つことは、将来の社会生活を行う上でも大切です。今後も様々な活動を工夫して美化意識の定着に向けて、継続して指導していきたいと考えています。清掃の行き届いた環境で学校生活を送る喜びを生徒が感じられるよう、粘り強く取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

6 授業規範の確立と授業マナーの向上

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
11	先生は、生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずに注意していると思いますか。	1年	41.59%	42.52%	11.21%	4.67%	84.1%
		2年	40.33%	46.41%	10.50%	2.76%	86.7%
		3年	36.08%	49.37%	12.66%	1.90%	85.4%
12	あなたは、授業中に私語や勝手な行動をすることなく集中して学習していますか。	1年	46.76%	43.98%	8.33%	0.93%	90.7%
		2年	47.51%	42.54%	8.29%	1.66%	90.1%
		3年	45.86%	45.86%	8.28%	0.00%	91.7%
13	学校の授業は進路希望に応じて、コースや選択科目が選べるようになっていていると思いますか。	1年	64.95%	33.64%	1.40%	0.00%	98.6%
		2年	51.96%	43.58%	4.47%	0.00%	95.5%
		3年	55.06%	42.41%	1.90%	0.63%	97.5%

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率
11	子どもは学校の授業内容に満足している。(わかる、興味が持てる)	20.1%	47.7%	28.5%	3.6%	67.9%
12	学校のカリキュラム(授業科目の配置等)は、子どもの進路希望に応じたコースや選択科目が選べるようになっていている。	32.5%	57.5%	8.7%	1.2%	90.1%

■【学校の受け止め方(分析)】

8割ほどの生徒が「先生は生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにきっちりと注意していると思います」と捉えてくれています。一方で全学年を通じて2割ほどの生徒が「授業中に生徒への注意をしていない」と否定的な回答をしています。高校生活の基本は授業であり、どの学年、どの授業においても授業規律は保たれている状態が望ましく、生徒の皆さんの意見は重く受け止めています。また、約1/3の保護者の皆様が、お子様が吹田高校の授業に満足していないと感じられていることがわかります。一般的に、高校での授業はただ単に楽しいだけのものではなく、充実感や達成感

を得るためには自分自身の努力が必要ですが、生徒に一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。しかしながら、少なくない皆さんから否定的な回答をいただいたことは、あらためて学校として真摯に受けとめ、授業に興味をもたせる一層の工夫や、学習に対して不安がある生徒に対するさらなるケアが必要だと認識しており、引き続き改善を図りたいと思います。

教育課程に関しては、どの学年も9割以上の生徒が満足していると捉えることができます。一方で、教育課程と進路希望が結びついていないというご意見も少なからずございます。これらのご意見を真摯に受け止め、よりよい教育課程を作り上げていくよう尽力いたします。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒の皆さんに一定の学力をつけることは学校としての当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。今回の結果を踏まえ、すべての教員が自らの授業技術を磨く必要性をさらに強く自覚し、一つ一つ丁寧に取り組むことで総合的な授業力の向上に努めてまいります。また、科目や教科単位で年間の到達目標や評価基準を明確にし、生徒が目指す資質・能力を示すことで、計画的に授業を実施していく所存でございます。

一方で、授業はまさに教員と生徒の共同作業であり、お互いが求められる役割と責任を果たすことで初めて「よい授業、興味が持て、わかる授業」が成立します。授業規律の確立について、生徒の皆さんに自身の行動を見直すこと、必要な予習や復習をすることなどを、学校としても強く求めていると考えています。

保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒が学ぶこと、新たな知識を得ることの楽しさと大切さに気づくことができる授業や教育課程の作成に、引き続き学校をあげて取り組んでいきたいと思っています。

7 三年間を見据えた系統的な進路指導

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R06肯定的回答率	
14	学校が提供している進路に関する情報や進路ＨＲは、あなたが将来の進路を考えるうえで役立っていると思いますか。	1年	49.07%	44.39%	5.61%	0.93%	93.5%	92.7%
		2年	45.30%	46.96%	5.52%	2.21%	92.3%	
		3年	47.44%	44.87%	7.05%	0.64%	92.3%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
13	学校では、子どもの進路実現に役立つ情報提供が適切に行われている。	27.4%	58.7%	9.9%	3.9%	86.1%
14	学校では、子どもの学力向上のための講習・補習などが適切に行われている。	23.3%	48.8%	24.5%	3.3%	72.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

(3) ア

■【学校の受け止め方（分析）】

- ・生徒質問 14 昨年度比+1.8%、概ね生徒のニーズに応える情報提供・進路 HR を実施できている。
- ・保護者質問 13 昨年度比+1.3%、メルマガでの情報提供をより多くの保護者の方に見ていただけていると思われる。
- ・保護者質問 14 昨年度比—6.1%、教員の多忙感が増す中、できる限りの講習はしたように思うが、改善の余地はある。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒への情報提供・進路 HR に関しては、ひき続き生徒のニーズを感じ取りながら内容を精査し、実施していく。また保護者への情報提供も引き続き丁寧に行う。多忙感が増す中、難しさはあるが、進学講習だけでなく、定期考査前の講習・補習をできるのが望ましい。

8 その他

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率	
15	先生は自分たちのために一生懸命に指導してくれていると思いますか。	1 年	60.48%	34.29%	4.76%	0.48%	94.8%	93.6%
		2 年	48.07%	43.65%	4.97%	3.31%	91.7%	
		3 年	52.53%	41.77%	5.06%	0.63%	94.3%	

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
15	学校の教職員は子どものために、一生懸命に指導をしている。	34.6%	52.1%	10.5%	2.7%	86.7%

■【学校の受け止め方（分析）】

教職員の指導については、昨年度に引き続き、生徒、保護者とも 8 割以上の肯定的な回答をいただいております。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

日常的な指導においては、生徒と教職員の相互信頼という基盤を築きながら、校内のルールやマナー、基本的な生活態度（時間・服装・挨拶・言葉遣い）を全教員で粘り強く指導していきます。また、生徒個々の特性をいかにしながら、協働の集団や社会の構成員として適した資質や態度・能力の発達を図り、学校だけでなく様々な生活の中で強く正しく生きる態度や能力の発達を助成するため、場面に即した指導をしていきます。

こういった指導の成果が生徒を通じて保護者の方にも理解していただけるよう、今後も保護者・地域の皆さまからのご意見やご要望を真摯に受け止め、教職員が一丸となって教育活動に専心してまいります。指導について、疑問やご質問がございましたら、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
16	個人懇談、進路説明会などに積極的に参加している。	24.3%	44.5%	25.2%	5.9%	68.8%

■【学校の受け止め方（分析）】

多くの保護者の方に学校に来ていただくことで、学校をより知っていただけたと思います。今後も多くの保護者の方に学校へ来ていただけるよう、個人懇談、進路説明会などを実施していきます。

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
17	学校からの情報や連絡は、配布物やホームページ、メールマガジン等を通して把握している。	36.1%	50.0%	11.5%	2.4%	86.1%

【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

4.（3）イ

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度より微増となりました。多くの保護者の方に学校の情報をお届けすることができています。保護者生徒を含む中学生や一般の方へはHPとX(旧Twitter)、保護者へはメールマガジン、生徒へはClassroomと状況に応じて連絡手段を使い分け、緊急情報は土日であっても発信しています。校長ブログは更新回数を増やすことで、学校の動きをほぼリアルタイムに把握していただけます。また、欠席等の連絡にはGoogleフォームを利用し、保護者からの連絡をスムーズに受け取ることができています。そして、昨年度途中からはGoogleカレンダーで行事予定を掲載するようにしています。1年間の行事予定を確認することができますので、ご家庭でも活用していただければ幸いです。

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
18	学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通をきめ細かく行っている。	23.4%	50.7%	21.1%	4.7%	74.2%

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度より微増となりました。まだまだ保護者の方と意思の疎通が必要だと感じております。

学校内での怪我や成績、各種指導など、生徒に何かあった際には保護者の方へ連絡をしております。今後ご家庭と学校との連携を大切にしていき、引き続き全教職員へ周知してまいります。また、ご相談がある場合は、担任、学年主任などを中心にお話を聞かせていただきますので、お気軽にご連絡していただきますようお願いいたします。

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
19	学校は近隣の地域施設や大学などとの連携を積極的に図っている。	18.2%	55.4%	22.5%	4.0%	73.5%

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度より微増となりました。開かれた学校づくりをめざしている吹田高校の取り組みに対して、今年度も70%を超える保護者の方から肯定的な回答をいただきました。

専門学校、大学、中学校、吹田市クリエイティブセンター、近隣市区とのさまざまな連携を行っていますが、今後もさらに地域、各種施設との連携を広げていくとともに、保護者の方にも活動を知っていただけるようにしていきます。

◇生徒へのアンケート

R6 質問		学年	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率	
16	1人1台端末(Chromebook)を授業や家 庭学習で活 用していますか。	1年	59.53%	28.84%	7.91%	3.72%	88.4%	81.6%
		2年	44.51%	29.67%	17.58%	8.24%	74.2%	
		3年	41.40%	40.76%	10.19%	7.64%	82.2%	

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度に引き続き、多くの生徒がChromebookを活用している状況が確認できました。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

現在の生徒は、小学生の時から1人1台端末を貸与されています。（自治体により機種に違いはあります）教員にとってはデジタル機材を使用することが通常となってきました。生徒が1人

Ｉ台端末を授業で活用することで、より理解を深め、また家庭での学習に役立てていくことができるよう、授業を中心に活用の幅を広げていきます。

◇保護者へのアンケート

R6 質問		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	R06肯定的 回答率
20	「学校教育自己診断」の結果や学校運営協議会の情報をホームページに掲載していることを知っている。	14.2%	30.8%	31.4%	23.6%	45.0%

■【学校の受け止め方（分析）】

質問の内容を変更していますので、昨年度との比較は行えません。学校教育自己診断のHPへの掲載は年1回、学校運営協議会については年3回ですので、タイミングを逃すと掲載していることを知っていただける機会はなくなってしまうのが現状です。こういった情報についてもしっかり把握していただけるよう、メールマガジンなどでの案内も行っていきます。